

各専門部会における意見

会場及び会場周辺環境整備

- ・ オリンピック開催が決定し、千葉が良くなったと言われるようにハード・ソフト両面でレガシーが残せると良い。
- ・ オリンピック期間中の幕張のあるべき姿を検討していく必要がある。
- ・ オリンピックに向けた施設改修や周辺交通網の整備を通じて、幕張メッセの競争力の強化に繋げていきたい。
- ・ 幕張新都心立地企業では社会貢献の一環として、一斉清掃や国際大通りの花の植え替えを行っている。オリンピックへの貢献のため、こうした活動を大会開催時期に併せて実施することを検討したい。
- ・ 花と緑による心安らげる空間づくりでおもてなしをしたい。オリンピック開催時期の暑さは花の大敵であり、夏場に耐えられる花づくりを今から進める必要がある。
- ・ より多くの集客につなげるため、幕張新都心や海辺の一体的なブランド価値を高める必要がある。

バリアフリー

- ・ 実際に車椅子で海浜幕張駅から幕張メッセへ行ったところ、エレベーターの設置、交通弱者のための誘導標識の設置、車椅子アクセスマップの充実、管内レストラン・売店等のバリアフリーマップ、ホテルのバリアフリー状況の周知、リフト付きバスの導入の必要性を感じた。
- ・ バリアフリーの質の向上が重要であり、使用する立場にたった検討が必要。
- ・ 障害者用トイレを別ブースで作るのではなく、一般のトイレが車椅子の方でも使えるように作られるのが理想ではないか。
- ・ リフト付きバスや福祉タクシーは価格が高く、導入には自治体の支援も必要。

交通・輸送

- ・ オリンピックレーンや優先道路の設置により、周辺住民やバス等の交通に悪影響をおよぼさないか。
- ・ 成田空港から幕張メッセまでの移動の案内をどうするか。主要駅や空港への交通案内ボランティアの配置等を含めて検討が必要ではないか。
- ・ 二次交通の充実についても検討が必要。
- ・ タクシー乗務員の質の向上がおもてなしにつながる。2020年に向けてしっかりと取り組んでいきたい。
- ・ 公共交通機関の利用者にとって、定時・定速運行は欠かせない要件である。会場周辺地域の交通渋滞の軽減や環境への配慮のため、自家用車の利用抑制や公共交通機関の利用促進についての視点も必要ではないか。
- ・ 国内外から多くの観戦客等を受け入れるためには、交通輸送力の強化や、駅舎など会場への交通拠点及び会場アクセスの機能強化が必要ではないか。

観光

- ・ 千葉県には観光資源はあるが、知られていない。訪日観光客を増やすためには、各国の嗜好を研究して、発信していく必要がある。
- ・ オリンピックを機に訪れる人々に、幕張だけでなく、広く県内を周遊いただけるよう、交通機関とも連携して検討していくことが必要ではないか。
- ・ 観光地としての競争力を高めるため、誕生寺や鯛の浦などで世界遺産登録を、目指してみてもどうか。
- ・ オリンピックの開催を契機に、多言語案内・サイン等の共通化を図り、県内全域で取り組んでいくべきではないか。

危機管理・安全対策

- ・ 感染症は初動体制が大切。初期対応でつまづき、パニックにならないような体制づくりが必要。
- ・ 訪日外国人への医療対応として、医療通訳の養成や多言語対応について検討が必要。
- ・ セキュリティレベルを上げるほど利用者はストレスを感じる。スピードとセキュリティレベル向上の両輪での検討が必要。

ボランティア

- ・ 様々な団体で様々なボランティア制度が運営されている。オリンピックに向けて県全体での統一的な仕組みづくりができないか。
- ・ 市町村によりボランティアのばらつきが大きい。県内のボランティアの底上げが必要。
- ・ 市町村社会福祉協議会ボランティアセンターとの連携が検討できないか。

機運醸成

- ・ 聖火リレーの計画は大会組織委員会が決定することであるが、県内を通るようであれば、県として何ができるかを検討していく必要があるのではないか。

オリンピック・パラリンピック教育

- ・ 子どもたちのためにもなり、2020年までの一過性にならないものを検討する必要がある。
- ・ JOCやパラリンピックサポートセンター等との連携が重要。

文化プログラム

- ・ 国や組織委員会では文化プログラムの内容について検討中であり、こうした動きを注視しながら、県の取組を検討する必要がある。
- ・ ターゲットを絞って検討していくことが重要。
- ・ ロンドン五輪では、イギリス中の鐘を一斉に鳴らすイベントが実施された。千葉県でも県民みんなが参加できるイベントを企画できると良いのではないか。